

高校15回卒の思い出

小川恭二

クラマーさんの練習ビデオ

昭和 37 年夏合宿の練習は充実したものだ。西ドイツから来日のクラマーさんの新しい練習法ビデオを戸田先生が見せてくれ、瀬戸先輩が細かくコーチしてくれた。

1. パス&ゴー：お前たちの「パス&ストップ」だと何度いわれたことか。

2. ルックアラウンド：まわりを見ると言われて気付くことばかり。

3. インディビジュアルタクティクス（個人戦術）を磨け：ボールリフト、ペンデルボールヘッドイング、各種トラップ、ドリブルからポジショニング、敵の考えの逆を考えたプレー、次の次の動きまで。今では当たり前前だけど、当時は新鮮でサッカーの面白さを教えられた。

ウサギ跳び、カメ足、手押し車、片足跳びの百段坂、腹筋、背筋、腕立て伏せの筋力強化よりも当然はるかに面白い。

展開サッカーに自信を持って臨んだ国体予選は準決勝で負けた。

高校選手権もやろう

新人戦優勝、関東大会出場と好成績だったので、緊張が途切れた。

しかし「高校選手権もやろう」の葛野の意気込みに3年生は乗せられ、予選で優勝でき、9年振りの正月全国大会出場という良い思い出が出来た。

快速ウイング力石、堅いGK常盤、長身で確実なシュートのCF臼井、なごましてくれるパーソナリティーの堀田の2年生、加藤、内野、早野、柳川の1年生諸君に助けてもらって、いや1・2年主体の好成績だった。

戸田先生、両毛先生、石川旭先生には感謝しきれないほどお世話になった。練習もよくみて頂き、合宿では、下手な我々を見かねて飯を炊い

入学当時は20人を超えた3年生も残ったのはこの5人だけ。

☆葛野：広い視野でゲームが見られて楽しめるハーフの技巧派。楽しみすぎたか応援多数の招待試合で、バイシクルキックで頭を打って有名に。

☆朝倉：右からの展開力と素直なキックで得点力あり、柔らかいプレーで新戦術のリーダー。しかし野菜に弱く、合宿ではグラウンド日陰でよく寝ていた。

☆久保寺：1年生の時から右キック力は抜群。3年ではタックルの強い随一のバック、抜かれた後もカバーは早い。体は堅いが力は強い。

☆添田：ボールコントロールのうまさと動きの質の高いウイング。関東大会の甲府工戦でゴール2m前のシュートのバー超えで有名。試合の行き帰りの電車の中で辞書を引き引き勉強は彼。（葛野も少し）

☆小川：キャプテンでバックセンター。スピードとタイミング、ノーストップのフィードにやや自信。

てまでして頂いた。英語、世界史の特別勉強、サッカーや生活の心構えの話など数えればキリがない。

全国大会県代表決定の後、全校朝礼で部員は前に出て紹介され、上庭グラウンドの石拾いを全校生がやってくれたり、正月の西宮の大会行きでは、新幹線は未だなかったのが小田原駅のホームに級友達が集まり校歌を歌ってくれたりしたのを覚えている。

かけがえのない宝物

我々は、多感な高校生時代楽しい思い出をもらったことは全くの幸運であった。サッカー選手として素質に恵まれた訳でなく、歴代の小田高チームには、もっと優れたチームは沢山ある。試合の勝負は運の部分が多く、強いチームが必ずしも勝つ訳ではないのもサッカーの良いところだろう。

サッカーで勝つことに全知全能を使い、たとえ負けても達成感を感じ、同じ思いを共有する生涯のよい先生や友人、先輩後輩を得たことこそ我々が小田高サッカーから貰ったかけがえのない大切な宝物だ。

第41回全国高校サッカー選手権大会神奈川県予選は11月4日から24日まで県営藤沢競技場で行われ、

本校サッカー部は決勝戦で栄光学園を破り、今春1月3日より西宮球場で行われた全国高校サッカー選手権大会の出場権を獲得した。